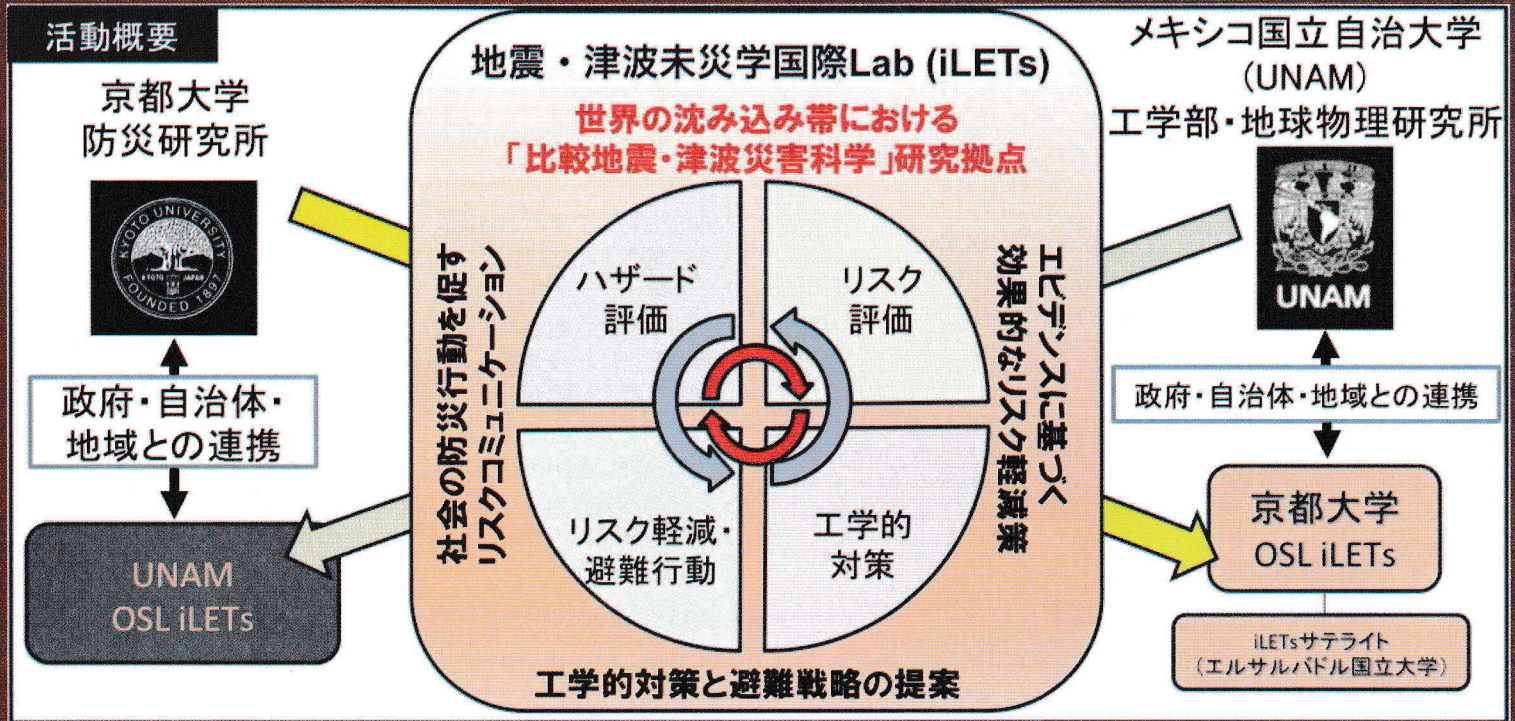


新まんてんてらこや (第12回)

次の南海トラフの巨大地震に備える — 比較地震・津波災害科学の提案 —



人呼んで「トラベル地震学者」
が語る新たな災害研究 講師：伊藤喜宏 京都大学防災研究所教授

[日時] 2026年6月7日(日)13時30分～15時

[会場] 京都大学 阿武山観測所 (NPO会員はオンライン視聴可)

[申込] contact@npo-abuyama.org 宛メールで直接お申込下さい

「まんてんてらこや参加希望」、氏名(複数人可)、当NPO会員か非会員かを明記しお送り下さい

[参加費] 一般500円(当日、受付でお支払い願います。NPO会員は無料)

[アフタータイム] 講演終了後約30分間、希望される方は講師や観測所メンバーと
講演内容やNPO活動についてお気軽にお話し頂くことができます

[問合せ] contact@npo-abuyama.org

「新まんてんてらこや」は、地震学や防災学について、最新の研究成果や役立つ話題をわかりやすくお伝えする講演会シリーズです。以前開催していた「公開講座」を衣替えし、「NPO法人阿武山地震・防災サイエンスミュージアム」の主催で3ヶ月に一度のペースで開催しています。多くのみなさまにご参加頂ければ幸いです。

最近の開催履歴：

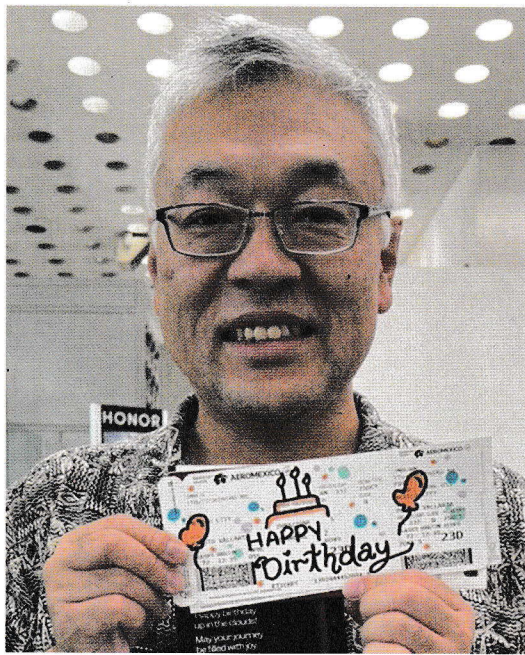
- 第7回：2025年3月2日 地震だけじゃない！地震計から探る未知の現象 京大防災研・山田真澄
- 第8回：2025年6月1日 地震波で地下を覗く 京都大学名誉教授・澁谷拓郎
- 第9回：2025年9月7日 「南海トラフ地震の真実」の真実 京都大学名誉教授・橋本学
- 第10回：2025年12月7日 世界の人々は災害をどう見ているのか 京大防災研・中野元太
- 第11回：2026年3月1日 地下から火山を読む 京大防災研・畑真紀

主催：NPO法人阿武山地震・防災サイエンスミュージアム

後援：高槻市

新まんてんてらこや 第12回

次の南海トラフの巨大地震に備える —比較地震・津波災害科学の提案—



講師紹介:

伊藤喜宏 (いとうよしひろ)
京都大学防災研究所 教授

略歴:

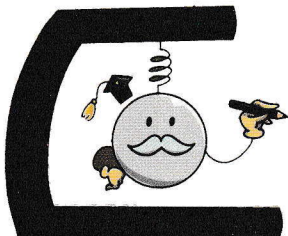
専門は地震学、海底地震・測地観測、スロー地震、巨大地震・津波災害の軽減に関する研究。
東北大学大学院理学研究科博士後期課程を経て、2005年に博士(理学)を取得。
第42次日本南極地域観測隊の地学系隊員として南極地域での観測活動にも従事した。
防災科学技術研究所、東北大学大学院理学研究科を経て、2013年より京都大学防災研究所に着任。
現在は、プレート境界で発生するスロー地震から巨大地震・津波に至る現象の解明、海底観測技術を用いた地震・津波災害リスク評価、ならびに日本・メキシコを中心とした国際共同研究に取り組んでいる。JST-JICA SATREPS「メキシコ沿岸部の巨大地震・津波災害の軽減に向けた総合的研究」など、国際的な防災研究プロジェクトの研究代表者も務めた。

講演概要:

南海トラフでは近い将来M8級以上の巨大地震が懸念され、その像や被害は観測等から推定されているが不確実性も大きい。環太平洋の沈み込み帯では類似の地震・津波災害が共有される一方、地域横断的な比較研究は乏しい。本講演では、各地域の地震現象と社会的対応の共通点と相違点を学際的に比較する「比較地震・津波災害科学」を提案し、その目的を示し、南海トラフ巨大地震への備えと沈み込み帯災害科学の一層の発展に資する。

NPO法人阿武山地震・防災サイエンスミュージアムは、京都大学阿武山観測所がこれまで取り組んできた「地震サイエンスミュージアム」活動を、「オープンサイエンス」運動としてさらに発展させたいと考え、2021年4月に設立しました。

当法人は、正会員、準会員、賛助会員を募集しています。どなたでもご入会いただくことが可能です。会員には、講演会の参加費が無料になるなど、様々な特典があります。詳しくはホームページをご覧ください。



特定非営利活動法人阿武山地震・防災サイエンスミュージアム

所在地：〒569-1041 大阪府高槻市奈佐原 944

京都大学防災研究所阿武山観測所内



<https://npo-abuyama.org>